

第10回「専門社会調査士(8条規定)」資格認定審査結果についてのご報告

資格認定委員会委員長

中野 正大

2013年10月1日

2013年7月10日締め切りで募集いたしました「専門社会調査士(8条規定)」には、全体で126名(教員103名・実務者14名・院生9名)からの申請があり、審査の結果、全体で106名(教員88名・実務者11名・院生7名)の資格を認定いたしました。

ここに、これまでの認定経過と認定方法についてご報告いたします。

記

1. 資格認定の経過

申請者を、その所属とポジションに基づいて教員・実務者・院生の3グループに分類し、まず査読委員による内容審査を行いました。その審査結果に基づき、グループごとに調整・審査を重ねて、最終的には全体をまとめ、資格認定委員会において最終審査いたしました。

以下は、今年度の審査過程の詳細です。

(1) 査読委員による内容第1次審査(審査日程：8月1日～8月23日)

14名の査読委員が、提出書類と論文の内容審査を行い、審査結果報告書を作成しました。

(2) 査読委員による内容第2次審査(審査日程：8月28日～9月11日)

第1次審査で再審査の対象となった申請書類・提出論文について、第1次審査とは異なる査読委員が再度審査いたしました。

(3) 資格認定委員会(審査日程：9月14日)

資格認定委員会において、各審査経緯を報告し、第1次審査結果、第2次審査結果を検討いたしました。また、それぞれの段階で議論の対象とされた申請について提出論文等の内容を再確認した上で、資格認定を行いました。

2. 資格認定評価項目

専門社会調査士(8条規定)の資格認定では、研究論文・調査教育歴・調査実施歴・研究業績の4つの評価項目を設け、教員・実務者・院生のグループごとに評価基準を定めました。

[共通の基準]

(1) 提出論文が社会調査に関連しないと判断された場合は、他の項目の評点の如何にかかわらず不合格とする

(2) 調査教育歴・調査実施歴がいずれもないと判断された場合は、不合格とする

[教員]の基準

- (1) 提出研究論文の評価項目
 - ・レフェリー付の学術雑誌論文、博士論文、著書(単著)
 - ・著書(共著)、科研費等の学術的社会調査研究報告書など
 - (2) 調査教育歴の評価項目
 - ・常勤または非常勤(TA は除く)で、社会調査士認定科目の教育歴
 - ・常勤または非常勤(TA は除く)で、社会調査関連科目の教育歴
 - (3) 調査実施歴の評価項目
 - ・科研費等の学術的社会調査研究に従事し、報告書・論文等で研究報告を行った経験がある
 - (4) 研究業績の評価項目
 - ・提出論文以外に、社会調査に関わるレフェリー付の学術雑誌論文・著書(単著)・博士論文がある
 - ・提出論文以外に、社会調査に関わる著書(共著)・科研費報告書などがある
- ※教員の場合に限り、提出論文・調査教育歴・調査実施歴・研究業績のいずれかで特に優れた実績がある場合には認定対象とする

[実務者]の基準

- (1) 提出研究論文の評価項目
 - ・レフェリー付の学術雑誌論文、博士論文、著書(単著)
 - ・著書(共著)、科研費等の学術的社会調査研究報告書など
 - ・調査研究に関わる雑誌の論文
 - ・調査の成果物(調査報告書・調査レポートなど)
- (2) 調査教育歴の評価項目
 - ・常勤または非常勤(TA は除く)で、社会調査士認定科目の教育歴
 - ・常勤または非常勤(TA は除く)で、社会調査関連科目の教育歴
 - ・大学以外の学校等での教育経験
- (3) 調査実施歴の評価項目
 - ・社会調査プロジェクトに従事し、報告書・論文等で報告を行った十分な経験がある
 - ・調査部門での4年以上の勤務経験がある
- (4) 研究業績の評価項目
 - ・提出論文以外に、社会調査に関わるレフェリー付の学術雑誌論文・著書(単著)・博士論文がある
 - ・提出論文以外に、社会調査に関わる著書(共著)・科研費報告書などがある
 - ・提出論文以外に、調査研究に関わる雑誌・調査報告書等において研究業績がある
- (5) その他の評価項目
 - ・社会調査士の資格を取得しているか、もしくはS科目の講習会を履修し試験に合格し

ている

- ・アドバンスド社会調査セミナーを受講し試験に合格している

[院生]の基準

教員基準に概ね準ずる

3. 資格認定者数

承認された「専門社会調査士(8条規定)」認定者の内訳は以下のとおりです。

	2013年			2012年			2011年			2010年		
	申請者	認定者	認定率	申請者	認定者	認定率	申請者	認定者	認定率	申請者	認定者	認定率
教員	103名	88名	85%	122名	103名	84%	99名	86名	87%	112名	94名	84%
実務者	14名	11名	79%	25名	19名	76%	20名	16名	80%	37名	27名	73%
院生	9名	7名	78%	9名	4名	44%	10名	5名	50%	12名	8名	67%
申請者合計	126名	106名	84%	156名	126名	81%	129名	107名	83%	161名	129名	80%

以上